

SKYSEA Client View
ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ

導入・運用に関する注意事項

Sky 株式会社
キヤノン IT ソリューションズ株式会社

第 1.3 版
2021 年 4 月 23 日

目次

1. はじめに.....	3
2. 推奨環境.....	4
2.1.対象製品.....	4
2.2.動作環境.....	5
3. 同じコンピュータに製品をインストールする場合の注意・制限事項	6

SKYSEA および SKYSEA Client View は、Sky 株式会社の登録商標です。

ESET、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET Remote Administrator、ESET Security Management Center は、ESET, spol. s r.o.の商標です。

Microsoft、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

1. はじめに

本資料は、『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』を同じコンピュータにインストールして、ご利用いただく場合の注意事項について説明しています。

『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』を同じコンピュータにインストールする場合、本書の内容を事前にご確認ください。

また、『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』の連携機能については、別紙『連携手順書』をご参照ください。

2. 推奨環境

本章では、『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』を同じコンピュータでご利用いただく場合の注意事項について、説明しています。

2.1. 対象製品

本節では、同じコンピュータにインストールしてご利用いただける『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』の製品およびバージョンについて説明します。

同じコンピュータにインストール可能な『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』の製品およびバージョンは、以下の通りです。

プログラム名	バージョン
SKYSEA Client View	
SKYSEA Client View	13 以降のバージョン
ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ	
ESET Endpoint Security	6.2.2033.1 以降のバージョン
ESET Endpoint アンチウイルス	6.2.2033.1 以降のバージョン
ESET File Security for Microsoft Windows Server	6.2.12007.1 以降のバージョン
ESET Remote Administrator	6.5.37.0 以降のバージョン
ESET Security Management Center	7.0.73.3 以降のバージョン

図 2.1-1 対象製品

2.2. 動作環境

本節では、『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』を同じコンピュータでご利用いただく場合の動作環境について、説明しています。
『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』を同じコンピュータでご利用いただく場合は、以下の動作要件が必要となります。

【サーバー要件】

サーバー要件 (推奨)	
CPU	4 コア/4 スレッド 2.88GHz 以上 または 4 コア/8 スレッド 2.53GHz 以上 のプロセッサ
メモリ	4GB 以上
ハードディスク	【SKYSEA Client View】 ● 350GB 以上の空き容量 【ESET Remote Administrator】 または【ESET Security Management Center】 ● 150MB 以上の空き容量

図 2.2-1 サーバー要件

【クライアント要件】

クライアント要件 (推奨)	
CPU	インテル Pentium III 866MHz 以上
メモリ	256MB 以上
ハードディスク	【SKYSEA Client View】 ● 400MB 以上の空き容量 【ESET Endpoint Security/ESET Endpoint アンチウイルス】 ● 320MB 以上の空き容量 【ESET File Security for Microsoft Windows Server】 ● 200MB 以上の空き容量

図 2.2-2 クライアント要件

同じコンピュータに製品をインストールする場合の注意・制限事項

本章では、『SKYSEA Client View』と『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』を同じコンピュータでご利用される場合の注意事項について、説明しています。製品をご利用前に必ず本書の内容をご確認ください。

① 1 台のサーバーで管理できるクライアント台数について

SKYSEA サーバーと ESET Remote Administrator または ESET Security Management Center をインストールした 1 台のサーバーで管理可能なクライアント台数は、500 台となります。

500 台以上のクライアントを管理する場合は、複数のサーバーに分けて管理を行ってください。

1 台のサーバーで 500 台以上のクライアント端末を管理した場合、ご利用のサーバーやネットワークに著しく負荷がかかる場合があります。

② SKYSEA Client View のプログラムについて

『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』がインストールされたサーバーに SKYSEA Client View をインストールされる場合、マスターサーバーおよびデータサーバー、管理機、端末機以外のプログラム（例えば、ログ解析サーバーなど）をインストールしないでください。

③ 他社製ウイルス対策ソフトウェアについて

他社製ウイルス対策ソフトウェアがインストールされているコンピュータに ESET 製品をインストールすることはできません。

他社製ウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、事前にアンインストールを行ってください。

他社製ウイルス対策ソフトウェアがインストールされている環境に、ESET 製品をインストールした場合、オペレーティングシステムの不正終了やフリーズなどが発生する可能性があります。

④ 『保守契約ユーザー用 Web サイト』および『ユーザーズサイト』について

『SKYSEA Client View』 および『ESET セキュリティ ソフトウェア シリーズ』では、それぞれ製品専用 Web サイトを用意しています。

製品専用 Web サイトでは、製品プログラムや製品に関連した資料を公開しています。製品をインストールする前に必ずご確認ください※。

- 『SKYSEA Client View 保守契約ユーザー用 Web サイト』

<https://sp.skyseaclientview.net/login>

- 『ESET 製品 ユーザーズサイト』

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

※製品専用 Web サイトにログインするには、専用のユーザー名、パスワード（ESET 製品の場合は、シリアル番号、ユーザー名）が必要となります。

⑤ ESET Endpoint Security をご利用の際の注意事項

SKYSEA Client View がインストールされているクライアントに ESET Endpoint Security をインストールされる場合、必ず以下のポート番号を許可するファイアウォールルールを作成してください。

既定の設定では、ESET Endpoint Security のファイアウォール機能により、SKYSEA サーバーとの通信が遮断される可能性があります。

プロトコル	ポート番号	用途
TCP	52300	SKYSEA Client View の各機能で使用
	52304	
	52308	
	52309	
	52312	
	52313	
	52314	
UDP	52305	
	52306	
	52309	
	52310	
	52311	
	52314	

図 0-1 ポート番号

⑥ ミラーサーバーを構築する場合の注意事項

ESET 製品の検出エンジン(ウイルス定義データベース)は、通常、差分アップデートで行われます。

差分アップデートは、基準となる検出エンジン(ウイルス定義データベース)から変更された情報のみダウンロードしアップデートを行います。これにより、アップデートサーバーからダウンロードする検出エンジン(ウイルス定義データベース)のサイズを抑えることができます。

しかし、この差分アップデートは、検出エンジン(ウイルス定義データベース)のアップデートを繰り返すことにより、フラグメントが発生します。

そのため、配信する検出エンジン(ウイルス定義データベース)の容量が一定サイズを超えた場合、検出エンジン(ウイルス定義データベース)の再構築を行い、クライアントに配信を行っています。

この再構築した検出エンジン(ウイルス定義データベース)の配信を『ベースアップデート』と呼びます。

ベースアップデートが実施された場合、容量の大きな検出エンジン(ウイルス定義データベース)が配信されるため、ご使用のネットワークに負荷がかかり、一時的に SKYSEA Client View のリモート操作機能やソフトウェア配布機能の動作が遅くなる場合があります。

上記現象が発生する場合は、拠点ごとにミラーサーバーを構築するなどの設定を行ってください。

詳しい内容につきましては、以下 ESET 製品 製品ホームページ Q&A よりご確認ください。

■ ESET 製品 製品ホームページ Q&A 『ベースアップデートについて』

URL:

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/228?site_domain=business

⑦ 1台のサーバーへ SKYSEA マスターサーバーと ESET Remote Administrator または ESET Security Management Center を構築する場合の注意事項

1台のサーバー上に SKYSEA マスターサーバーと ESET Remote Administrator または ESET Security Management Center を構築する場合、一部機能の競合によりインストールに失敗する場合があります。

本事象は、以下の何れかの方法にて回避が可能です。

回避方法①

ESET Remote Administrator または ESET Security Management Center インストール後に SKYSEA マスターサーバーをインストールする。

回避方法②

ESET Remote Administrator または ESET Security Management Center インストール時に Rogue Detection Sensor をインストールしない。

回避方法③

SKYSEA マスターサーバーのサービスを停止後、Rogue Detection Sensor をインストールする。